

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
 担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	地高 I C アクセス 一般国道 304 号 <small>しみずだに</small> 清水谷バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	石川県
起終点	自：石川県 <small>かなざわ</small> 金沢市 <small>ふるやだにまち</small> 古屋谷町 至：石川県 <small>かなざわ</small> 金沢市 <small>しみずだにまち</small> 清水谷町			延長	1.5 km
事業概要					
一般国道 304 号は、金沢市と富山県南砺市を結ぶ幹線道路であり、地域高規格道路金沢外環状道路（山側幹線）の月浦 I C と金沢テクノパーク・金沢森本インター工業団地の物流センターを結ぶ一次アクセス道路である。当該区間において、バイパス整備による狭隘箇所・急カーブといった交通のボトルネックを解消し、I C アクセス向上により物流の効率化を図る。					
H27年度事業化	都市計画決定なし		H28年度用地着手	H29年度工事着手	
全体事業費	約 3.7 億円	事業進捗率	約 87%	供用済延長	— km
計画交通量	3,500 台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 1.02 (残事業) 5.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 8.4/41 億円 事業費：7.1/40 億円 維持管理費：1.2/1.2 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 42/42 億円 走行時間短縮便益：38/38 億円 走行経費減少便益：3.3/3.3 億円 交通事故減少便益：1.1/1.1 億円	基準年 令和 4 年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C= — (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C= — (交通量±10%) 事業費：B/C= — (事業費±10%) 事業費：B/C= — (事業費±10%) 事業期間：B/C= — (事業期間±20%) 事業期間：B/C= — (事業期間±20%)					
事業の効果等					
①安全・安心な交通の確保 通過交通を排除することによる地域住民の安全・安心の確保					
②緊急輸送道路としての機能強化 災害や除雪等による北陸自動車道及び国道 8 号通行止め時の代替路としての機能強化に寄与					
③広域交流の拡大 北陸自動車道福光 I C 等へのアクセス向上により観光交流の拡大、物流の効率化					
関係する地方公共団体等の意見					
・一般国道 304 号道路整備促進期成同盟会（会長：富山県南砺市長、副会長：石川県金沢市長、岐阜県白川村長）等から本事業の早期完成の要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
・国道 304 号沿線の金沢テクノパークや金沢森本インター工業団地において多数の企業が進出し、国道 304 号の交通量が増加。(H22) 3,100 台/日 ⇒ (H31) 3,300 台/日 ・平成 29 年 12 月に金沢外環状道路山側幹線の東長江 I C ～神谷内 I C 間の 4 車線化が完成。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率 100%、事業進捗率約 87%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地の取得が完了しており、令和 5 年度の完成を目指し、道路改良工事、舗装工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
複数の工事用道路の確保により、施工の効率化、運搬費の低減を図っている。					
対応方針					
事業継続					
対応方針決定の理由					
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

